



吉田 修 議員

問 現在、農地中間管理機構のもとで基盤整備が行われているが、近年にない豪雪となった中、4月より水稲作付を可能とする為、町としてどのような対策を取っているのか。

答 降雪の影響で一部に工事の遅れが出ているようだが本年度産の作付けに間に合うよう、県、工事事業者と打ち合わせを行っていきたい。

問 工事が遅れ、作付けが難しい状況になった場合、概に作付けを見込み準備している営農家に対する支援策は。

答 作付けできる前提で事業を進めているが、現時点では農家に対する支援策は考えていない。難しい状況になった場合には、必要な支援策を検討したい。

問 工事が遅れると鳥獣被害対策用の電気柵等の設置、用水路などの管理に影響は出ないか。

答 鳥獣被害設置は田植えが終わってからのなので直接的には大きな影響はないと思う。



▲基盤整備工事中

問 豪雪は森林伐採作業にも少なからず影響があると思われるが、チップ原木となる未利用材の安定確保に対し、町としての対応をどのように考えているのか。

答 毎年40ヘクタールのチップ原料を確保することになっている。不足する場合は、町有林からの搬出材を優先的に供給することも検討したい。

問 個人からの持ち込み木材の買い取り実績状況は。

答 今のところ持ち込みの実績はない。

問 道ばた林業は地産地消の観点から、町の活性化事業として一層の推進を図るべきでは。

答 町単独事業のみならず林業は、森林環境譲与税を財源として事業を行っている。国の補助事業にも限界があるが、鳥獣被害防止策として引き続き事業支援を行っていききたい。

問 チップ生産施設が稼働して間もなく1年になるうとしているが、事業実績評価は。

答 今年度は黒字見込みであり、2人の雇用が生じた。

問 豪雪による農林業振興対策は
答 必要な支援策を検討していきたい

問 町独自のワクチン接種証明書の発行は
答 国や県の今後の対応を見極めたい

問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も他市町に先駆け3回目の接種が終了したが、一部の町民から要望のあったワクチンの接種証明書の発行の考えはないか。

答 ワクチンの接種後、会場で配布している「ワクチン接種済み証」を証明書として利用可能である。

問 接種日に、接種済み証は配布されたが、保存や携帯が可能なカードタイプや作成についての考えは。

答 カード等の証明書の発行は、その効力や住民の煩雑化を考慮すると効果は期待できない。

問 新型コロナウイルス感染症の収束後、行動制限の緩和にともない証明書の提示を求められた場合に町独自の証明書の作成を望ましいのではないか。

答 今後県が統一した形を示せば町として考えるが、現状での効果や効力は難しい。



問 スマートフォンでマイナンバーカードを利用した電子版接種証明書への対応のため、マイナンバーカードの普及推進を進めるべきではないか。

答 スマートフォンのアプリから証明書を表示できる仕組みになっておりマイナンバーの普及も含め指導など積極的に取り組みたい。

問 町では消費喚起生活支援、燃料支援のための商品券を配布したが、新型コロナウイルス感染症の完全収束には時間がかかるものと思うので、今後も生活支援の更なる支援への考えはあるか。

答 新型コロナウイルスの感染が高止まりにあり、またロシアによるウクライナへの侵攻などで更なる燃料費の高騰も予想されるなか国からの指示があれば町として考えたい。



梅津 政志 議員



▲ワクチン集団接種会場